

会社概要と海外事業への取り組み

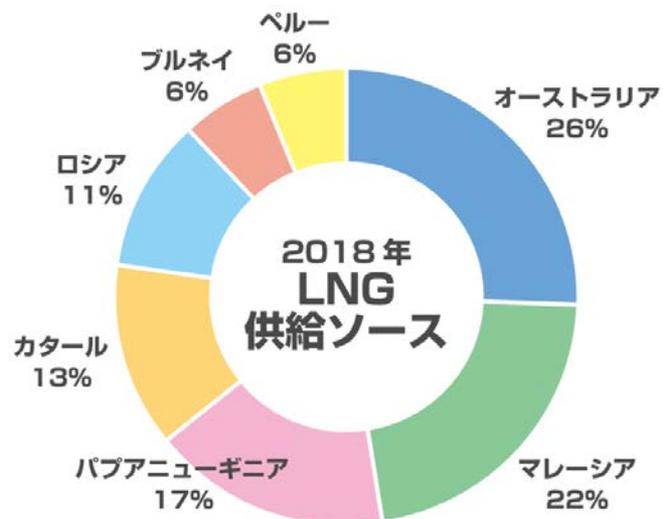


静岡ガス株式会社

I .静岡ガス

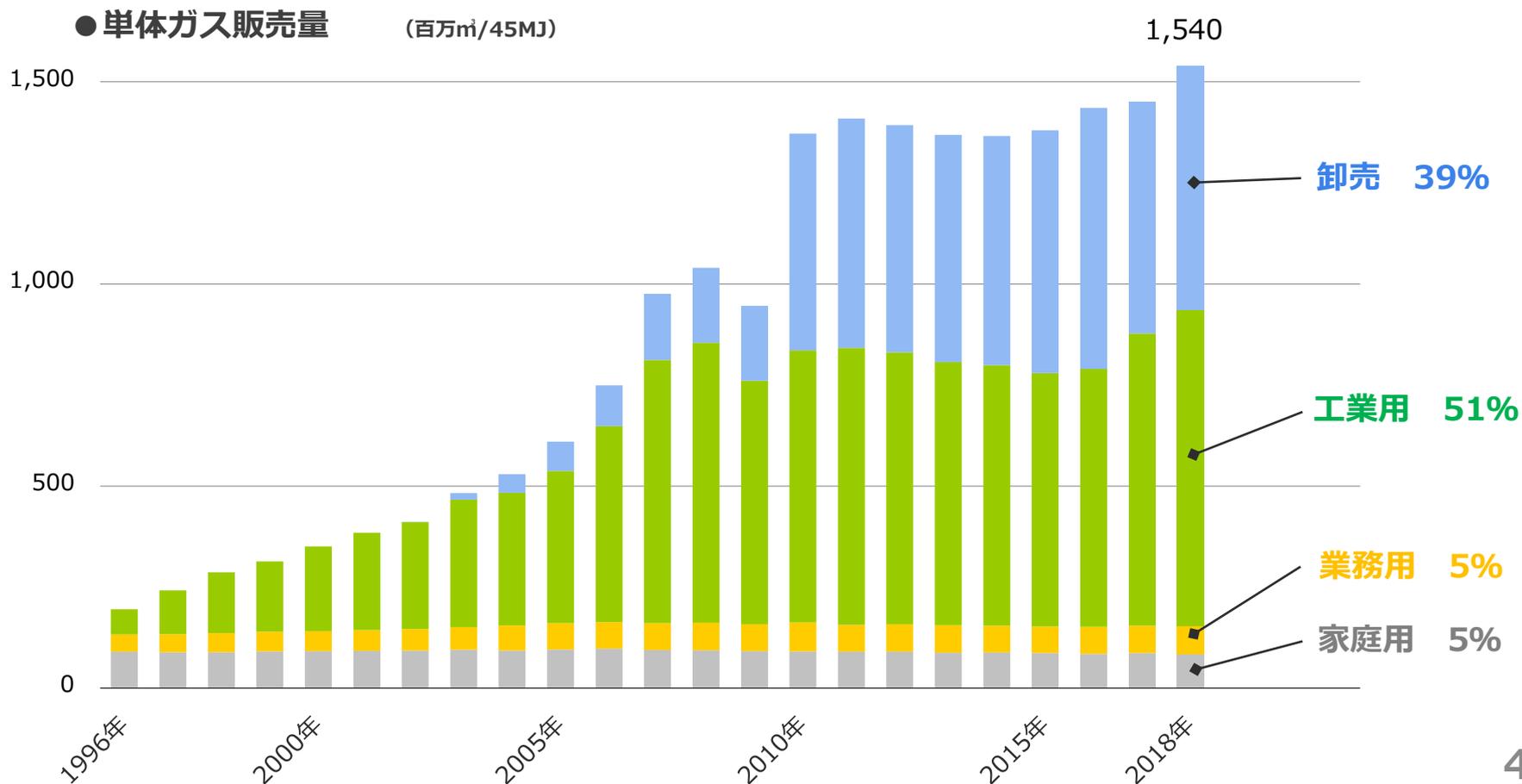
本店所在地	静岡市駿河区八幡1-5-38
設立年月日	1910年(明治43年) 4月16日
お客さま数	319,591件 (単体ベース)
卸売先数	11社 (単体ベース)
ガス導管延長	5,263km
LNG輸入量	119万トン + リロード 2カーゴ
売上高	1,431億円
従業員数	1,265名
連結子会社	23社 持分法適用2社

(2018年12月期)

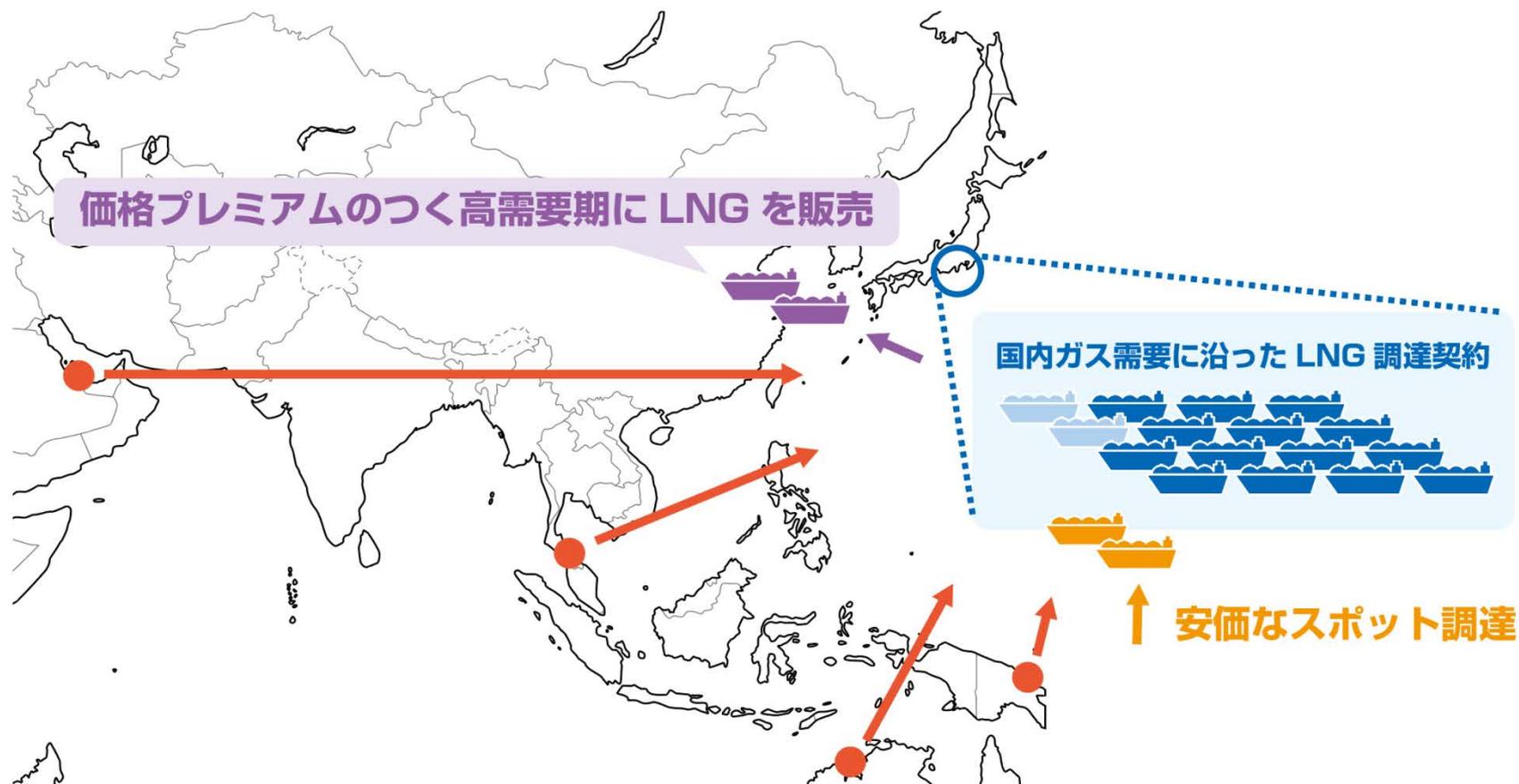


LNG導入からのガス販売量推移

- ◆ 石油系からガスへの燃料転換を取り込み工業用が増加
- ◆ 2004年から近隣都市ガス会社への卸売りをスタート
- ◆ 工業用5割、卸売4割となり7倍超の販売量に成長



- ◆ LNG取引の流動化により「原料調達価格の低減」と「原料調達の柔軟性」を確保
- ◆ コンテナ船によるLNG販売を足掛かりに中国マーケットへ進出
- ◆ 中小型船によるリロードを実現



- ◆ ガスのお客様の約15%（4.5万件）が当社の電力を選択
- ◆ 地域の資源を地域に還元する電力事業スキームを展開

● SHIZGASでんき 使用中戸数（万件）



● 事業スキーム



Ⅱ.特定投資業務案件・タイ発電事業(IPP)への参画

- ◆ 海外での事業マネジメントやビジネスにかかるノウハウの蓄積がない
- ◆ 現地事情への理解や海外での人的ネットワークがない
- ◆ 海外事業への投資評価の経験がない



- ◆ **社内体制の構築**
- ◆ **外部アドバイザーの活用**

フェーズ
1

情報収集

- ・ 担当部署による情報収集

フェーズ
2

初期的検討

- ・ 財務アドバイザーの起用

フェーズ
3

デューデリジェンス

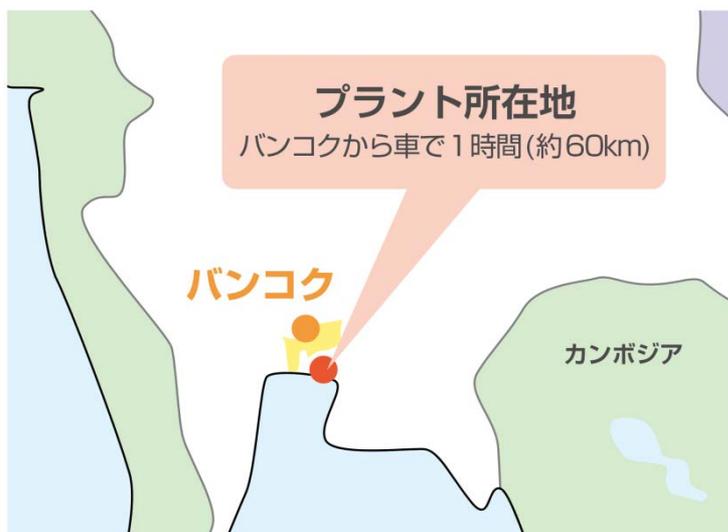
- ・ 社内プロジェクトチームの組成
- ・ ファイナンススキームの検討

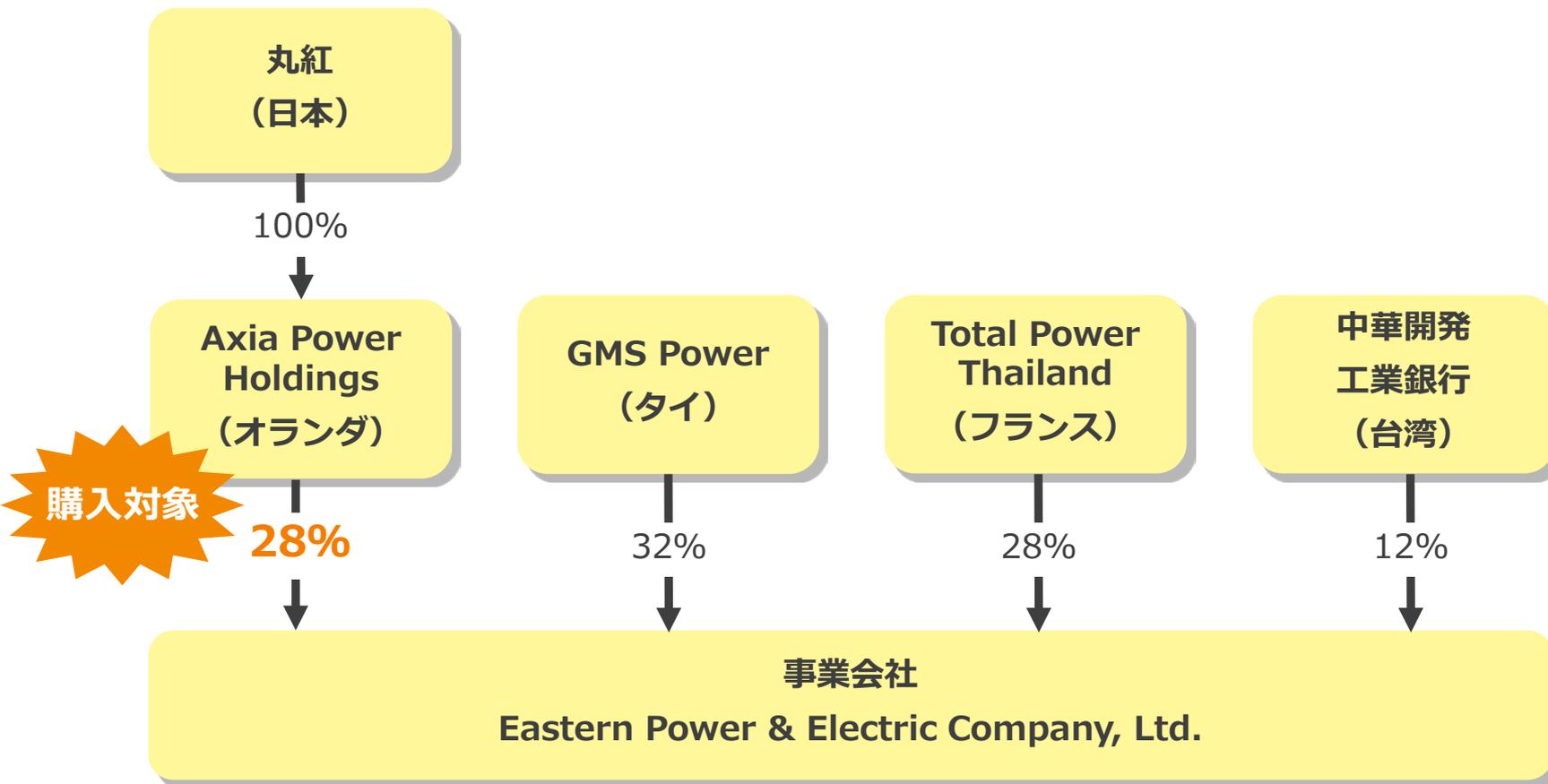
フェーズ
4

協議／クロージング

- ・ ファイナンススキームの組成

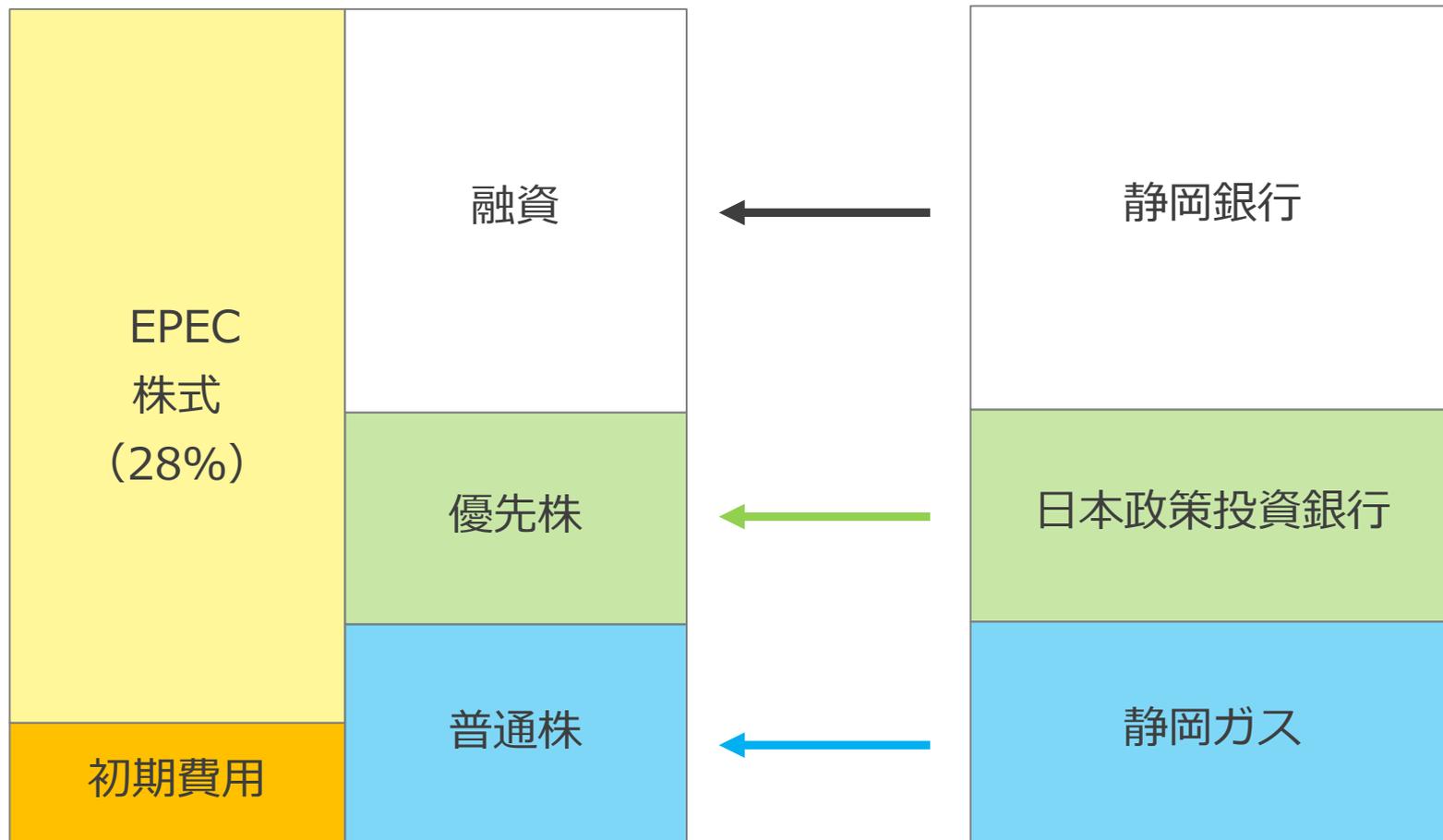
名称	Bang Bo Combined Cycle Power Plant
所在地	タイ国サムットプラーカーン県バンボー地区
種別／出力	天然ガス焼きCCGT／350MW
使用燃料	主要燃料 : 天然ガス(パイプラインにより供給) バックアップ燃料 : 軽油
操業開始	2003年3月





事業会社名称	Eastern Power & Electric Company, Ltd. (以下「EPEC」)
設立	1995年4月

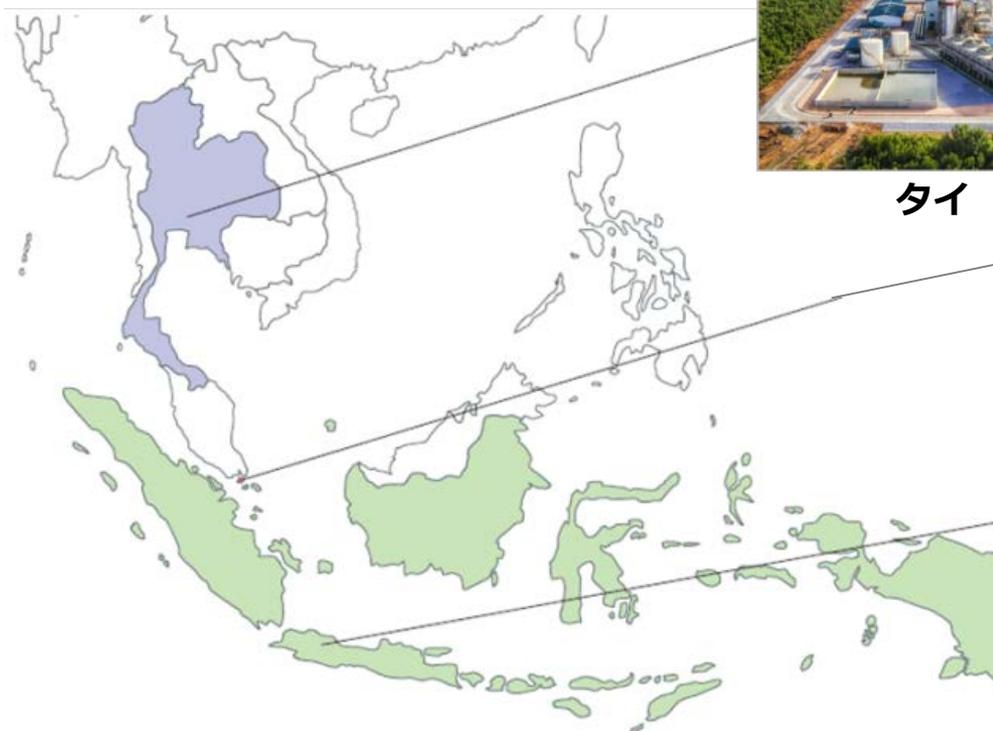
● SG・Bang Boパワーホールディング



- ◆ 目的に合った案件
- ◆ 適切な投資規模
- ◆ 信頼できるアドバイザー
- ◆ 金融機関のバックアップ
- ◆ 社内の意思統一

Ⅲ.その後の海外事業の取り組み

- ◆ 2015年3月：シンガポールに駐在員事務所を設立（2017年現地法人化）
- ◆ 2015年7月：タイでの発電（IPP）事業に参画
- ◆ 2017年3月：海外事業部を設立
- ◆ 2017年7月：インドネシアでのガスエネルギー事業に参画



タイ



シンガポール



インドネシア

- ◆ 2017年7月にガスエネルギー事業を展開するMitra Energi Persada社と業務提携
- ◆ 南スマトラ州で産業用ガスの販売拡大をアシスト
- ◆ インドネシアの各地で開発が進む分散型エネルギーインフラの構築を見据え、新規事業の検討・開発にも協力



インドネシア証券取引所での記者会見

インドネシアでの産業用ガスの拡販

インドネシア・南スマトラ州での販売拡大を支援

お客さま先での面談風景

